



夏休み
 特集号
 方城町
 青少年問題協議会

＝町ぐるみで子どもの
 健全育成をはかるために＝
 わたしの家庭では守ります。

- ◎小学生は友達だけで町外へ遊びにだしません。
- ◎夜間の外出・外泊・夜あそびはさせません。
- ◎バイクの夜間の暴走運転はさせません。
- ◎小中学生はゲームセンターの出入りはさせません。

非行を見たらここに連絡を

- | | |
|---------------------|------------------|
| ○方城派出所
② 一一三三 | ○中村良一
② 二四二三 |
| ○金田派出所
② 〇一一〇 | ○葛原ハツ子
② 三〇七二 |
| ○方城町中央公民館
② 四三〇〇 | ○財津政義
② 〇七二〇 |
| ○永岡清正
② 〇四六二 | ○古賀邦明
② 〇一九二 |
| ○手島直倫
② 〇五五四 | ○方城中学校
② 〇二三七 |
| ○福高也男
② 〇二七七 | ○伊方小学校
② 〇一二七 |
| ○手島秋信
② 〇〇四一 | ○弁城小学校
② 〇二二九 |

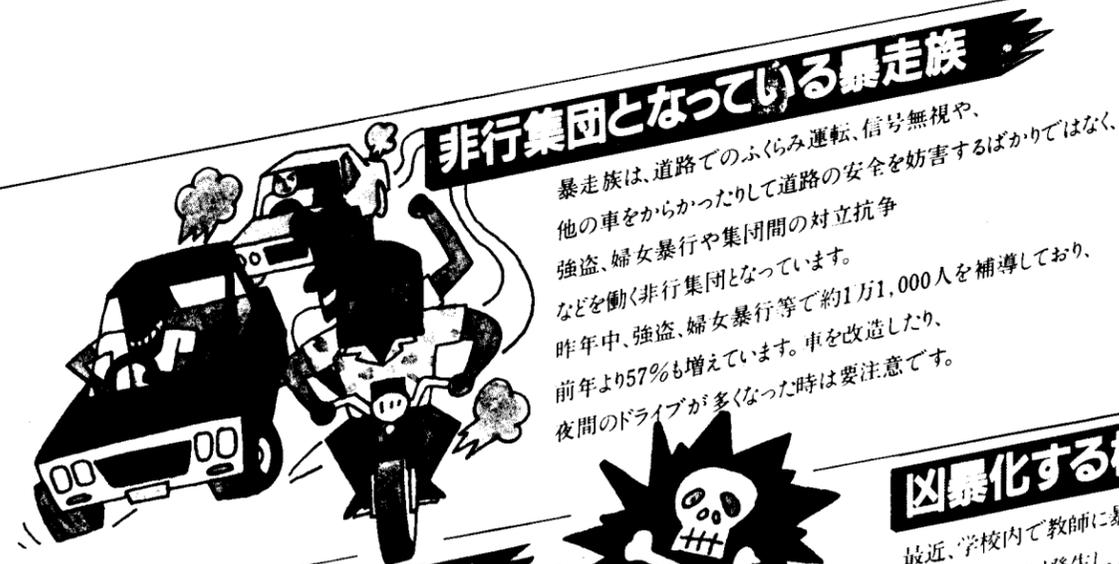
青少年の問題行動や非行化はますます暴走化する傾向にあります。保護・過干渉が原因していることも改めて反省すべきではないでしょうか。青少年の非行化の責任を家庭・学校・社会が自らの課題とします。誠にゆゆしい問題であります。青少年の健全育成にみんなで取り組みましょう

方城町青少年問題協議会
 会長 中島義章

心的であり、他人の人権を無視した利己的衝動的なものが多く、集団的にも付和雷同し、盲従的で無自覚無批判の傾向を強く感じます。しかし、これら青少年の非行をみると、われわれ大人たちの子

役割を自覚し、責任分担を明確にして指導にあたるのが何より大切だと思います。次の方城町を担う青少年の健全育成のために全町民あげて取組もうではありませんか。

どもに對する甘やかしや放任・過保護・過干渉が原因していることも改めて反省すべきではないでしょうか。青少年の非行化の責任を家庭・学校・社会が自らの課題として捉えず、他に転嫁しては真の解決にはなりません。その立場でその



非行集団となっている暴走族

暴走族は、道路でのふくらみ運転、信号無視や、他の車をからかったりして道路の安全を妨害するばかりではなく、強盗、婦女暴行や集団間の対立抗争などを働く非行集団となっています。昨年中、強盗、婦女暴行等で約1万1,000人を補導しており、前年より57%も増えています。車を改造したり、夜間のドライブが多くなった時は要注意です。

死を招くシンナー乱用

シンナーや接着剤は、もともと工業用や工作用などに使うもので極めて危険な有機溶剤が含まれています。昨年だけでも、乱用で50人の少年が死亡、約4万5,000人の少年が補導されています。シンナーの臭いがして、ボンヤリ酒に酔ったような時には、気をつけましょう。



凶暴化する校内暴力

最近、学校内で教師に暴力を振ったり、生徒同志の暴力事件が多く発生し、大きな社会問題となっています。昨年だけでも9,058人の中・高校生が補導され、そのうち77%は中学生です。これらの少年は、学校内で番長グループを組織し、大勢の一般生徒に悪い影響を及ぼしています。派手な服装、かくれてタバコを吸う、乱暴なことばが目立つ等は、非行につながるきざしです。



狙われる家出少年

昨年、警察で発見保護した家出少年は約5万8,000人で、その大半が小・中・高校生です。女子が男子を上回っている(55%)のも最近の特徴です。家出少年は、暴力団等から狙われ、特に、女子少年の場合は、覚せい剤をうたれたり、売春をさせられるという被害も多く発生しています。無断で外泊、学校をズル休み、親にウソをついたり、黙ってお金を持ちだしたりする時は、要注意。

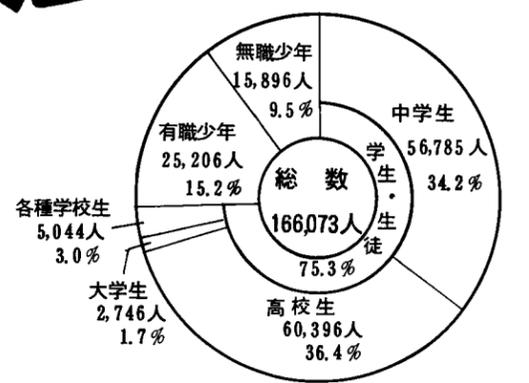


顔は薄化粧
つけまつげ、アイシャドウ
口紅の代わりにシャインリップ
眉毛は剃って細く書く



心あたりはありませんか？ もう一度チェックしたい、注意信号。

刑法犯少年の学職別構成比
昭和55年中に警察で補導した刑法犯少年は、戦後最高を記録。その半数近くが14、15歳の少年です。非行の内容は、万引や、自転車・オートバイ等の窃盗が大半ですが、強盗、傷害等の凶悪な非行も増えています。(昭和55年)



非行防止は家庭から

少年の非行を防止するには、一にも二にもまず家庭がしっかりしていることです。
お父さん、お母さん、時には自らの家庭をチェックすることも忘れて下さい。

《家庭における非行防止の5つのポイント》

<p>①</p> <p>子供を放任しない 子供を育てる責任の自覚を…</p>		<p>②</p> <p>親子の対話を忘れないように 子供への理解を…</p>
	<p>③</p> <p>子供に善悪のけじめを つけさせる事を忘れないように 生活の基本マナーを…</p>	
<p>④</p> <p>二つ叱ったら三つほめる心がけを 忘れないように いつも励ましと暖かさを…</p>		<p>⑤</p> <p>ポルノ雑誌等を家庭に 持ち込まないように 若いエネルギーを正しい方向に…</p>

中学校の取りくみ 一 方城中学校指導部

方城中学校は悪いという評判は田川郡市に広まっています。これは昨年頃から目立ってきた組織的な金銭強要、集団暴力、教師反抗など目にあまる事がありにも多かつたからだと思われまます。

今、中学校ではこの汚名を挽回すべく変身に努力しています。その為にまず教師と生徒との人間関係を作る事を目的に、柔道部の合宿や二年生全員の英彦山青年の家での一泊二日の校外指導などの取りくみがあげられます。寝食を共にして生徒に接する事により、教室では見られない一面も発見でき、今後の生徒指導に役立たせたいと思っています。

次に学校内に起きた問題行動について小さい事でも家庭に連絡をして明らかにして来ましたが、これに対して最初の頃、生徒は猛烈に反発して来ましたが今はようやく定着して来ようとしています。

また学校内事件につきまして保護者の協力を求めて来ましたが、修学旅行前の保護者会に全員が子供と共に集まり学校の方針に賛同し協力の意志を示してくれました。

次に五月下旬には校内暴力に関係のあった加害者の保護者会を開き、今後このような事はさせまいと決議をしました。また七月十五日には三年男子の喫煙経験者の保護者全員、生徒、教師の三者が一同に会して話し合い、生徒達は今後喫煙はしない約束をして帰りました。ところが最近また金銭強要事件がおこりました。この調査を進めていくと、数人の卒業生が中学生に指示を出し、夏休みまでに多額の金を要求してきた事実が明らかになり、すでに金を受け取った卒業生も判明しました。また卒業生の間では、金が必要な時は中学生に一声かければ、すぐに金はいくらでも集ると云っているようです。中学校が懸命にたちあがろうとしている時に、先輩がこのような形で足をひっぱることは絶対に許せないことです。また保護者の中には、今後卒業生が中学生にこのような事をした時は、町報などに名前を明らかにして徹底的に究明せよという強行な意見の人もいます。学校では今後卒業生からんだ非行問題がおきた時は、当該高校や補導員と連絡をとりきちんと責任をとらせる方針を確認しました。